

N I E 実践報告書

尚志館高等学校

本校では部活動文化部の1つとして「NIE研究会」をつくり、17名で活動しています。授業では新聞を教材として扱ったり、南日本新聞社「若い目」への投稿活動、文化祭での展示発表、夏休みには毎年テーマを決め夏季学習会を実施しています。新聞を通して生きた社会を学び、「読む・書く・伝える」技能の向上を図っています。

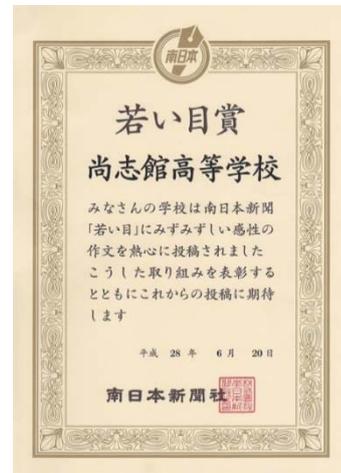


1 南日本新聞「若い目」への投稿活動

平成24年4月からこれまで56名の生徒の投稿が掲載されました。(平成29年1月現在)

【若い目賞】

南日本新聞社より、「若い目賞」をいただきました。全校の集会で紹介され、生徒の大きな励みとなりました。



〈平成28年度〉

- 4月21日 「希望に満ちあふれ」
- 5月25日 「福祉の心を学んだ」
- 5月31日 「トイレ掃除で美人に」
- 6月15日 「ベストを尽くしたか」
- 7月20日 「大人への階段のよう」
- 8月11日 「山を訪れてほしい」
- 11月7日 「一周のブームにもかなりの労力」
- 11月18日 「あこがれの看護師に」
- 12月21日 「安全性か利便性か」



2 これまでの夏休み NIE 学習会

平成 24 年度 川内原子力発電所 見学

川内原子力発電所を訪問し、学習会を行いました。付近の川内火力発電所も見ることができ、今後のエネルギーのあり方を考える機会となりました。また、南日本新聞社から東日本大震災の報道写真をお借りし、文化祭でパネルの展示も行いました。



平成 25 年度 南日本新聞社 見学

実際に見たり質問をしたり、今まで知らなかった新聞の読み方や楽しみ方を教えてくださいました。また、取材から私たちに届くまでの流れを知ることで、さらに理解が深まりました。輪転機の見学もでき、インクの匂いは今でも忘れられません。



平成 26 年度 MBC 南日本放送局 見学

「新聞とテレビの比較」をテーマに放送局を見学し、マスメディアの重要性、ニュースを伝える現場を肌で感じました。新聞の良さ、テレビの良さを再認識できる貴重な体験でした。



平成 27 年度 鹿児島地方・家庭裁判所(模擬裁判)、海上自衛隊鹿屋航空基地資料館 見学

裁判所の判決の記事に注目してみました。悲しい事件や争いごとに関する多くの新聞記事を目にします。実際に裁判の現場を見学することで、刑事裁判や民事裁判の理解を深め、裁判所の役割について深く考える契機となりました。



NIE 研究会 夏季学習会 (8/20、8/21 実施)

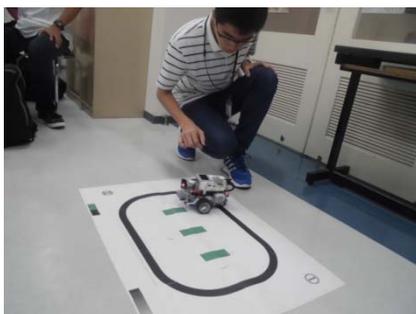
情報体験学習 & 主要大学説明会 & 太宰府天満宮

今年度は福岡県の麻生情報ビジネス専門学校を訪問し、コンピュータや情報通信機器を使ってCGやロボットの技術に触れる体験学習を行った。
急速に進む情報社会を学ぶ貴重な経験となった。

専門学校が準備してくれたコースをそれぞれ選択し、楽しみながらの体験学習



走行プログラムを試行錯誤しながら、ロボットに入力



九州に全国の主要大学が集まった主要大学説明会に参加



風呂・食事付き・セキュリティ完備のワンルーム型の学生マンションの宿泊体験



太宰府天満宮で部員全員で「学業上達」祈願!!



3 おわりに

新聞を通して、生徒が社会で起こっている様々な出来事に関心を寄せ、それに関する自らの考えを新聞に投稿するといった主体的な活動を行うことができた。その他にも、それぞれの学科独自の行事や実習等で考えたことを新聞に投稿し、実際に掲載されることで喜びを得る生徒もみられた。

昨年末には、「ニュース検定 基礎編 3・4 級」のテキストを用い、生徒に 1 年間の出来事を振り返らせた。生徒は、「この記事は新聞で見ました」「これ知ってます」「初めて見た」などと楽しみながら 1 年間のニュースを振り返っていた。

今後も積極的に新聞を活用した授業実践や投稿活動を行い、生徒の考えや思いを深めさせていきたい。